

## 第41回新生ふくしま復興推進本部会議

○日 時：平成27年6月8日（月）9：20～9：30

○場 所：第一特別委員会室（本庁舎2階）

### 【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催します。

早速ですが、議題1「国への提案・要望について」企画調整部長。

### 【企画調整部長】

資料1-1を御覧ください。平成28年度以降の復興財源確保が大事な局面を迎えることを踏まえ、今週末、12日に知事から8つの柱立てに基づきまして、早朝には県選出国会議員の皆様への説明、引き続き、関係政党、関係省庁に対しまして終日要望活動を行っていく予定です。

続きまして、資料1-2を御覧ください。

さきほどの8つの柱立てに基づきまして、要望43項目を整理した一覧表になります。主な柱立てごとに説明しますと、「Ⅰ 平成28年度以降の復旧・復興事業のあり方」について、原子力災害が原因で復興が長期にわたる本県におきましては、将来の財政悪化が懸念されますことから、今後5年間における負担を極小化すべきであり、避難地域12市町村の県事業等の全額国庫負担を求めるなど、本県の実情を踏まえた対応を引き続き強く求めてまいりたいと考えております。

「Ⅲ 避難地域・浜通りの復興及び再生」について、浜通り地方の再生の原動力となるイノベーション・コースト構想の実現を図るべく、国が省庁の垣根を越えてしっかり対応することや、12市町村及び県の考え方を反映させた避難地域の将来像の速やかな策定などを要望するものです。

その他の要望項目は資料のとおりとなっております。

今後、最終調整をして、12日に政府要望してまいりたいと思います。

平成28年度以降の5か年ということで、概算要求段階に継続されていくものもあろうかと思っておりますので、皆さん局面、局面で頑張ってくださいと思います。よろしく願いいたします。

### 【鈴木副知事】

知事からお願いいたします。

### 【知事】

現在、平成28年度以降5年間の財源のあり方について、連日、政府との協議を重ねています。昨晚も郡山で、市町村長と一緒に浜田副大臣との議論を行いました。

国と我々では、まだ思いが異なっているところがあります。ただし、実際に対話と協議を重ねてく中で、お互いの理解が深まっていく、近づいていくという実感もあります。

そうは言いますが、異なっている部分がまだ相当あるのは現実ですので、私自身も先頭に立って協議を進めていきますが、さきほど近藤部長からあったとおり、各部局の個別事業を含めて関係省庁としっかりと向き合いながら、福島のお思いを伝えてほしいと思います。

ここでしっかり財源確保ができるかが、今後、福島の復興を円滑に進めていけるかどうか非常に大事な分水嶺になります。全庁一丸となって財源を確保する。その強い意志をもって皆さんも対応を進めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

### 【鈴木副知事】

続いて、議題2「福島県復興計画（第2次）の見直しについて」企画調整部長。

### 【企画調整部長】

資料2-1を御覧ください。復興計画（第2次）の見直しについてです。

資料左下に復興計画1次、2次の関係を簡単にまとめております。復興計画第2次ですけれども、策定から2年6か月経過し、現在進めております避難地域の将来像やイノベーション・コースト構想の具体化、こういった動きなどを踏まえて本県の復興計画を改定していく必要が出てきていると思っております。

資料右側にありますけれども、見直しにつきましては、これまで進めてきました取組の成果や課題をしっかりと検証するとともに、新たな動きを踏まえた新規プロジェクト等の追加について検討し、策定してまいりたいと考えております。

右下に手続きを記載しておりますが、見直しの検討に当たりましては、外部有識者、県民、市町村、議会等の御意見をよく伺いながら、今年12月を目標に復興計画（第3次）の策定を進めてまいりたいと考えております。

続きまして、資料2-2を御覧ください。これは、現行の復興計画（第2次）の別冊で毎年度、重点プログラムに基づいて当該年度の事業をまとめております。

本県の復興に向けた取組を、県内外の皆様にも本資料を基に発信してまいりたいと考えております。以上です。

#### 【鈴木副知事】

知事からお願いいたします。

#### 【知事】

この復興計画の見直しに当たってのキーワードは、2つあります。

1つ目は「現場主義」、この復興計画は福島復興のためであり、県民のためということになります。県民の目線に立ち、また、地域や市町村の意見をしっかりと聞きながら、より良い改定をしていただきたいと思います。

2つ目のキーワードは「しんか」です。「しんか」というのは、進める「進化」、深める「深化」、新しくする「新化」ということを常々言っておりますが、この復興計画の見直しの中で、今言ったような3種類の「しんか」を是非、形にしていきたいと思います。以上です。

#### 【鈴木副知事】

続いて、議題3「風評・風化対策の強化について」総務部長。

#### 【総務部長】

4月に風評・風化対策プロジェクトチームを立ち上げ、現状と課題を整理し、対策の強化に向けた方向性を検討してきたところです。

今回、中間報告として、強化戦略の骨子（案）について、風評・風化対策監から説明させます。

#### 【風評・風化対策監】

資料3を御覧ください。

主なものにつきまして、現状と課題を整理したものです。

まず、農林水産物につきましては、市場価格が震災前の水準まで回復していないこと。震災以降、失われた取引量が回復していないこと。右側の消費者意識ですが、県産品の購入をためらう人が一定割合いること。

観光、教育旅行におきましては、入込数、宿泊者数が震災前の水準まで回復していないこと。

2ページをお願いいたします。学校給食、海外の状況、関心度、情報発信等、それぞれ現状と課題を整理しました。

3ページをお願いいたします。これら課題を踏まえ、方向性としまして、1

つ目にターゲットを意識した取組を行うこと。2つ目に全庁的な取組に加え、市町村、都道府県、国、民間企業等、様々な主体と連携を強化し、取組のチャンスを増やすこと。3つ目に正確な情報をより伝わる、より共感が得られるよう発信を目指すこと。特に、課題の対応としましては、農林水産物の魅力と農家の努力、こういったものと合わせて食の安全の取組を発信していきたい。流通業者、販売店への広報活動等、商品の魅力を高め、販路回復・開拓に向けて強化してまいりたい。観光、教育旅行の回復についても対策を強化してまいりたいと考えております。

真ん中の連携した対策ですが、記載のとおりです。本県の応援をいただく輪を広げる仕組づくり等に取り組んでまいります。

下のロードマップでございます。今後、これらの方向性を基に、専門家の意見をいただきながら、戦略を取りまとめ、取組の進化を目指してまいります。以上です。

#### **【鈴木副知事】**

ただ今の件について、ご意見ありましたら、農林水産部長

#### **【農林水産部長】**

農産物につきましては、これまで、モニタリング等を中心に安全・安心を前面に出しPRしてきましたが、それは当然のこととして、今後は、おいしさ、魅力、そういった部分を前面に出してPRしてまいりたいと思います。

#### **【観光交流局長】**

現在、ふくしまデスティネーションキャンペーンを実施し、本県の魅力アップ等を図っておりますが、DC以降もアフターDCの取組など継続して県民一体となった取組を実施していきたいと考えております。

#### **【鈴木副知事】**

この戦略、骨子（案）に基づいて今後、具体的な施策等、肉付けをお願いします。

以上で復興推進本部会議を閉じます。